

行政のデジタル化推進に関する一般質問の概要

～市民の利便性向上と
職員の負担軽減をめざして～

① 質問：デジタル化推進の課題は？

国は今後3年間で行政デジタル化集中投資期間としています。
市も **職員の事務負担を軽減し、住民サービスを向上**させるため、システム導入を積極的に進めるべきですが、当市の課題は何ですか？

議員

2つの課題があります。

1 職員の知識習得

クラウドやAIなど新しい技術に対応できる職員の育成が必要です。



2 コストの問題

システム導入費用や維持管理費などのランニングコストについて、費用対効果を考慮する必要があります。



市長

② 質問：業務分析とプロジェクトチームの必要性は？

職員の事務負担軽減を目的に、まずは効率化が見込まれる業務を**分類・選定**することが重要です。各課の業務の現状を把握・分析し、業務の見直しを行うプロジェクトチームの結成が必要と考えますが、市の見解を聞かせてください。

議員

これまで、全庁的なシステムは電子計算機管理運営委員会で検討し、各課の個別システムは担当課が業務を把握し、予算要求の上で導入してきました。

今後は、**必要に応じてプロジェクトチームを設置し**、業務の現状把握・分析を行いながらシステム導入を検討します。

総務部長

③ これまでの取組・実績

全庁的・各課の判断により、直近5年間で6分野・11のシステムを導入しました。



税務課
滞納管理システム



建設課
空家等管理台帳
システム

など
計11システム
を導入

④ 今後の取組



プロジェクトチームの設置

業務の現状把握・分析を行い、システム導入を検討



職員研修の実施

システム事例の研修会や他市の導入事例の見学会を実施（昨年度実績、今年度も実施予定）



新庁舎に向けたシステム導入

令和4年度の新庁舎完成に向け、職員の出退勤時間を管理するシステムの導入を検討

⑤ 主なシステムの導入検討状況

システム名	現 状・今後の方針	イメージ・効果
電子決裁システム	紙の電子化作業が膨大など課題があり、今後、慎重に検討。	 テレワーク対応 決裁の迅速化
施設予約システム	現在は予約状況の確認のみ。利用者登録や高齢者への配慮など課題があり、今後検討。	 オンライン予約 市民の利便性向上
Web会議システム	タブレット型パソコンを整備中。遠隔での複数人との会議・打合せが可能。	 会議の効率化 移動時間の削減
防災情報システム	県と共同の総合防災システムと防災行政無線システムを運用中。	 迅速な情報提供 職員の参集対応
校務支援システム	県や近隣市町村の動向を注視しながら、来年度以降の導入に向けて検討。	 教職員の負担軽減 教育環境の向上

期待される効果と今後の進め方（イメージ）

現・状

- ・紙・対面・押印が多い
- ・職員の事務負担が大きい
- ・市民の待ち時間が長い

デジタル化の推進

- ✓ 業務分析・見直し
- ✓ プロジェクトチームで検討
- ✓ システム導入・職員研修
- ✓ 押印・対面の見直し

目指す姿

市民にとって

- ・手続の簡素化
- ・待ち時間の短縮
- ・利便性の向上

職員にとって

- ・事務負担の軽減
- ・業務の効率化
- ・柔軟な働き方（テレワーク等）

国の動きと連動し、費用対効果を見極めながら、計画的に行政デジタル化を推進していきます。